

事務事業名	林道改良事業(補助)		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	政策	開始	終了			
H29作成課等名	林務課	H29係等名	森林保全係	H28担当課等名	林務課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり						
目的	対象(誰・何を)	林道の未改良部分			指標名及び単位	28年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	林道を改良することにより、森林整備(間伐)の作業効率を向上し、木材搬出のコスト軽減など林業生産機能を向上させる。			地域再生計画・林道改良計画延長(m)	233			
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)			その他計画・林道改良計画延長(箇所)	10			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	H26まで地域再生計画・改良実施(累計m)/改良計画延長(3,589m)=% H27から地域再生計画・改良実施(累計m)/改良計画延長(2,340)=%			16	20	43	31	
	成果指標	その他計画・林道改良計画箇所(箇所)			4	2	10	10	
定性目標									
事業概要	<p>林道改良工事(法面保全、局部改良、安全施設整備等)を施工することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上、通行車両の安全確保を図る。特に通行に支障があり、緊急に対応しなければならない箇所について実施する。</p> <p>平成25年度から森林環境保全整備事業にて橋梁、トンネルの点検診断を行い、保全整備計画(長寿命化修繕)を策定し、橋梁等長寿命化と予防保全整備を進める。特に通行に支障となるような重大な損傷の可能性が高い箇所については早期に保全整備工事を実施する。</p>								
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標			
	<p>1 地域再生計画・道整備交付金 林道改良事業 林道御池山線・千遠線・押の沢線・東沢線</p> <p>2 橋梁保全整備 (1)地域再生計画・道整備交付金 保全整備工事 松川入線・東沢線 (2)農山漁村地域整備交付金 保全整備工事 桧沢和合路線</p>			<p>1 施行延長・幅員 2 箇所数</p>		<p>1 L=233m W=4.0m 2-(1) 8箇所 2-(2) 2箇所</p>			
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①	128,387	178,191	102,459	33,456	(県) 民有林林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) (地) 過疎対策(充当率100%) (地) 公共事業等(充当率90%) (そ) 繰越金 27→28 繰越明許費 5,530千円 28→29 繰越明許費 33,456千円				
国庫支出金									
県支出金	62,607	86,062	49,502	18,176					
起債	6,300	78,600	48,400	14,300					
その他									
一般財源	59,480	13,529	4,557	980					
人件費計(千円)②	7,152	7,152	7,152	0					
正規職員所要時間	2,000	2,000	2,000						
臨時職員所要時間									
総事業費①+②	135,539	185,343	109,611	33,456					
事業内容・目標達成状況の振り返り	橋梁点検診断業務の結果に基づき、優先順位を考慮しつつ、同年度内での保全整備工事の施工につなげることが出来た。								
改革改善の考え方	①問題点	林業のみでなく、生活道路や観光道路として利用されているが、中央構造線の破砕帯と思われる部分が多く、崩落に対する通行車両の安全確保が課題となっている							
	②改革提案	工法検討によるコスト削減							